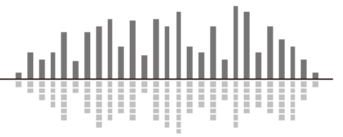


この TechTip では Composer ソフトウェアのプリセット機能について説明します。
Symetrix Composer のプリセット機能はフェーダーやスイッチなどの任意のパラメーターをあらかじめ決められた状態に一度に呼び出す事ができます。

プリセットの呼び出しは ARC ウォールパネルや GPI に接続された物理スイッチをはじめ、サードパーティー製の外部制御機器や SymVue、ARC-WEB などのリモートコントロール画面、調整時に役立つ Composer 画面上のリコールボタンや、日時から自動的に呼び出されるスケジュール機能など様々な機器、機能から呼び出すことができます。

・ Symetrix Composer のプリセットは機器全体のパラメーターのプリセットではなく、任意のパラメーターのみを指定のプリセットに保存していく形式です。そのため必要なパラメーターのみをプリセットに保存することができ、プリセットを呼び出す際に不用意に別のパラメーターを呼び出すことはありません。

- ・ 保存されたプリセットは Presets Manager を使用すればプリセット内容の確認および編集を行うことができます。
- ・ プリセットはサイトファイル毎に 1000 個まで保存することができます。
- ・ プリセットの保存と呼出は、オンライン/オフラインに関わらず行うことができます。
- ・ プリセット#999 と#1000 はデフォルトプリセットで、機器のオールミュートとオールミュート解除になります。このプリセットは削除することもできます。



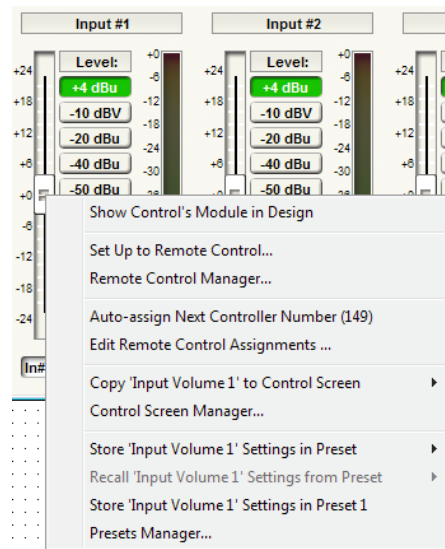
1-プリセットの作成方法

・1-1 パラメーター単体をプリセットに保存する方法

この設定方法はパラメーター単体をプリセットに保存する場合に使用します。

プリセットに保存したいパラメーターの上で右クリックをすると、下記の様なメニューが表示されます。

この方法では設定したいパラメーターの真上で右クリックすることが重要になります。
(フェーダーであればフェーダーの上、ミュートスイッチであればミュートスイッチの上…など)



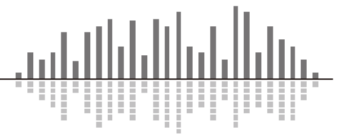
1. “Store ‘Parameter’ Settings in Preset” を選択すると、パラメーターの現在の状態を任意のプリセット番号に保存することができます。‘Parameter’ には選択されているパラメーター名が表示されます。

ショートカットキーを使用するとさらに素早くプリセットの設定を行うことができます。たとえばプリセット#134に保存する場合は、パラメーターの上で右クリックをしてメニューを表示した後にキーボードで” s134” と入力します。プリセット番号は3桁で指定する必要があるため、プリセット#5の場合は” s005” と入力します。

2. “Store ‘Parameter’ Settings in Preset ‘I’ ” を選択すると、パラメーターの現在の状態を ‘I’ に表示されているプリセット番号に保存することができます。表示されるプリセット番号は最後に保存されたプリセット番号になります。

ショートカットキーを使用するとさらに素早くプリセットの設定を行うことができます。この機能を使用するにはパラメーターの上で右クリックをして、メニューを表示した後にキーボードの i を押すだけです。

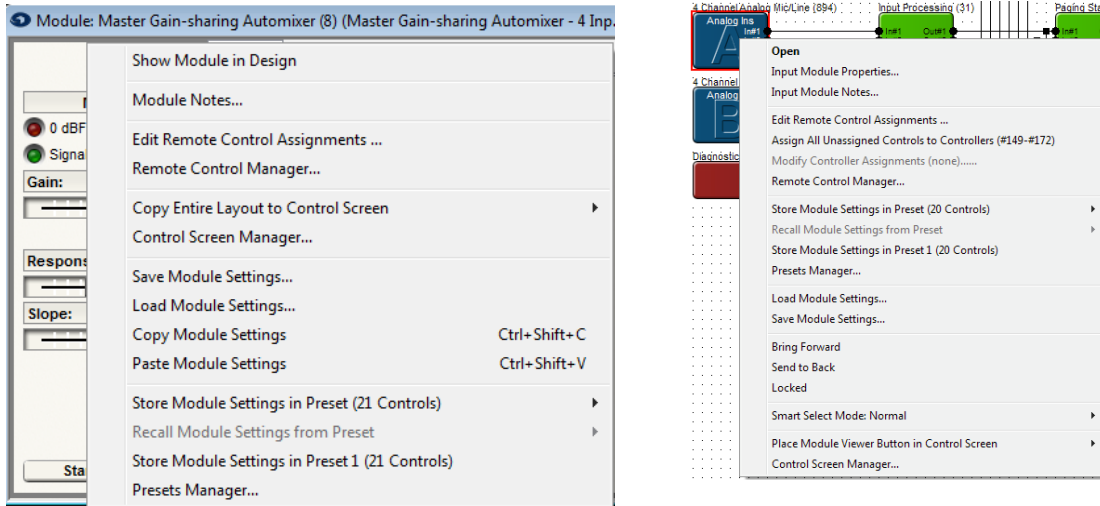
この機能は複数のパラメーターを同一のプリセット番号に保存する場合に便利です。



・1-2 モジュールのパラメーター全てをプリセットに保存する方法

この設定方法はモジュールのパラメーター全てをプリセットに保存する場合に使用します。

モジュールの空白部分（パラメーターが何もないところ）の上、またはモジュール自体の上で右クリックをすると下記の様なメニューが表示されます。



※空白部分をクリックした場合は左図の様にモジュールの外枠がグレーに囲まれます。

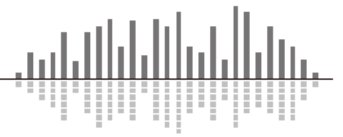
1. “Store Module Settings in Preset (xx Controls)” を選択すると、モジュールの現在の状態を任意のプリセット番号に保存することができます。xx にはプリセットに保存されるパラメーターの数が表示されます。

ショートカットキーを使用するとさらに素早くプリセットの設定を行うことができます。たとえば、プリセット#134 に保存する場合は、パラメーターの上で右クリックをしてメニューを表示した後にキーボードで” s134” と入力します。プリセット番号は3桁で指定する必要があるため、プリセット#5 の場合は” s005” と入力します。

2. “Store Module Settings in Preset ‘I’ (xx Controls)” を選択すると、モジュールの現在の状態を ‘I’ に表示されているプリセット番号に保存することができます。表示されるプリセット番号は最後に保存されたプリセットになり、xx にはプリセットに保存されるパラメーターの数が表示されます。

ショートカットキーを使用するとさらに素早くプリセットの設定を行うことができます。この機能を使用するにはパラメーターの上で右クリックをして、メニューを表示した後にキーボードの i を押すだけです。

この機能は複数のパラメーターを同一のプリセット番号に保存する場合に便利です。

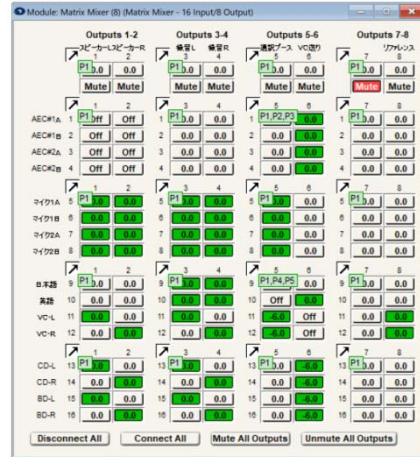


・1-3 マトリクスミキサーをプリセットに保存する方法

1. マトリクスミキサー全体をプリセットに保存する場合

マトリクスミキサーモジュール全体のプリセットに保存する場合は[1-2 モジュールのパラメーター全てをプリセットに保存する方法]と同様の手順でプリセットを保存します。

※右の例の場合、プリセット1 (P 1)にはマトリクスミキサー全てのパラメーターが保存されています。

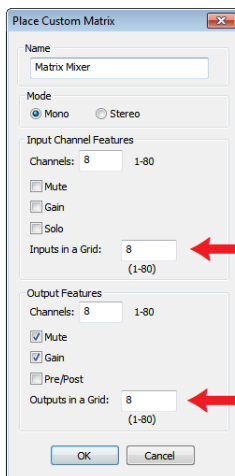


2. マトリクスミキサーの一部をプリセットに保存する場合

Custom Matrix Mixer は Grid 機能を使用することにより、Gridに囲まれた領域のみをプリセットに保存することができます。この方法は[1-1 パラメーター単体をプリセットに保存する方法]と同様の手順に従い保存したい領域の上で右クリックをします。

この機能を使用すると必要なクロスポイントのみのプリセットを呼び出すことができ、他のクロスポイントに影響を及ぼしません。

※上記の例の場合、プリセット2と3には Output5-6 の Input1-4、プリセット4と5には Output5-6 の Input9-10のみが保存されています。

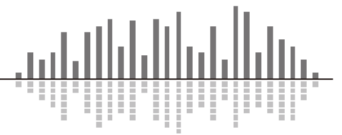


・マトリクスミキサーのグリッドは新規に Custom Matrix Mixer を作成する時に設定することができます。

またマトリクスミキサーモジュールを右クリックして Change Custom Matrix...から変更することもできます。

※プリセットは保存されるとパラメーターに重なり保存されたプリセット番号が表示されます。

表示されない場合は Alt+M を押すか Tools メニューから Super Impose Assigned Remote Control Number の項目にチェックを入れてください。

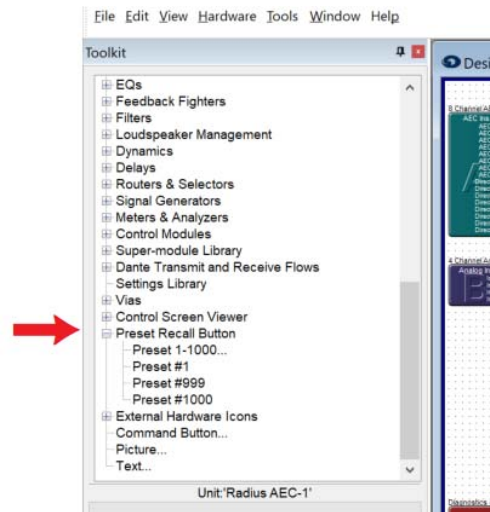


2-プリセットの呼び出し方法

・ Preset Recall Button を配置する

プリセットが保存されると、Toolkit 内の Preset Recall Button に保存したプリセットが表示されます。ドラッグアンドドロップすると画面上に呼び出しボタンを配置することができます。

配置したボタンはダブルクリックするとそのプリセットを呼び出すことができます。プリセットはオフライン状態でも呼び出すことができます。



配置したボタンは右クリックをして Preset Recall Button Properties を選択すると、ボタンの名前を変更することができます。ここには日本語を使用することもできます。

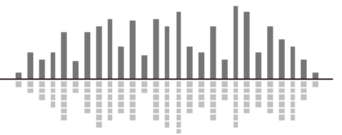
・ RS-232c または UDP/TCP を使用して外部制御機器から呼び出す
プリセットを呼び出す場合 下記のコマンドを DSP に送信します。

LP <PRESET NUMBER> <CR>

<PRESET NUMBER>には呼び出したいプリセットの番号を 1 から 1000 までの十進数で入力します。

※制御コマンドの詳細については別途 Protocol 表をご参照ください。

※GPI を使用して物理スイッチなどを接続しプリセットを呼び出す場合は、別途外部制御入力の使用方法をご参照ください。



3-Presets Manager について

Presets Manager では保存されたプリセットの確認、呼出、編集などを行うことができます。

Presets Manager ウィンドウを表示するには Tools メニューから Presets Manager を選択するかキーボードの Ctrl+G を押します。

保存されているプリセットを確認するには、+を押してツリーを展開します。保存されているユニット (DSP 機器) 名、モジュール名、パラメーターの順番に表示されます。

Recall

一覧から選択したプリセットを呼び出します。オフラインの場合はソフトウェア上のみで呼び出されます。オンラインの場合はハードウェア上で呼び出され、ソフトウェアに反映されます。

Remove

一覧から選択したプリセットを削除します。

Copy To...

一覧から選択したプリセットをコピーすることができます。ボタンを押すとコピー先を選ぶプルダウンリストが表示されます。

Rename

一覧から選択したプリセットの名前を変更することができます。デフォルトだとプリセットに名前はありません。

プリセット名には日本語を使用することができます。

Setup Remote Control

一覧から選択したプリセットを ARC アプリケーションに割り当てます。

Add notes...(Edit notes...)

一覧から選択したプリセットにメモ書きを残すことができます。

Note には日本語を使用することができます。

View Selected (Unit / Module)

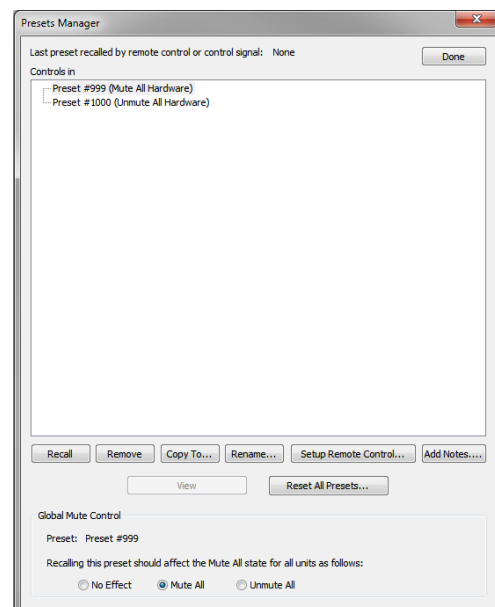
ツリーを展開し一覧からユニットまたはモジュールを選択した場合、そのユニットもしくはモジュールのウィンドウが表示されます。

Reset All Presets...

作成したすべてのプリセットを削除して初期設定に戻ります。

Global Mute Control

作成したプリセットにすべてのハードウェアのミュート/ミュート解除の機能を追加することができます。追加しない場合は No Effect を選択します。





この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは株式会社オーディオブレインズまでご連絡ください。お問合せ受付時間は、土日祝日、弊社休業日を除く 10:00~18:00 です。

株式会社オーディオブレインズ

〒216-0034

神奈川県川崎市宮前区梶ヶ谷 3-1

電話 : 044-888-6761

AUDIO  **BRAINS**

20171213